令和８年 10 月 30 日

令和８年度光化学スモッグ広報等の発令状況等について

兵庫県では、光化学スモッグによる健康被害を未然に防止するため、光化学スモッグ広報等の発令を行っています。

このたび、令和８年４月 20 日から 10 月 19 日までの光化学スモッグ特別監視期間が終了し、発令状況等の概要を取りまとめましたのでお知らせします。

記

１　光化学スモッグ広報等の発令状況

令和８年度の光化学スモッグ広報等の発令は、ありませんでした。

発令がないのは、昭和 46 年(1971 年)度の広報等発令業務開始以来４度目で、令和６年度から３年度連続となります。

２　光化学スモッグによる被害報告

光化学スモッグによる被害の届出は、ありませんでした。

３　令和８年度の特徴

（１）令和８年度の光化学スモッグ広報等の発令がなかった要因として、高気圧に覆われ晴れた日でも、湿った空気の影響を受けることが多くあり、午後から雲が広がり日射が抑えられたり、風が強まったりしたことがあげられます。

（２）４月下旬は、低気圧や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、日最高オキシダント濃度が 100ppb を超えることはありませんでした。神戸、姫路、洲本（以下「３地点」とする。）で、日照時間は平年よりかなり少なく、降水量は平年よりかなり多くなりました。

５月は、上旬及び下旬に前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりましたが、中旬は高気圧に覆われ晴れた日が多くなりました。神戸、姫路、洲本、豊岡（以下「４地点」とする。）で、平均気温は平年よりかなり高く、日照時間もかなり多くなりました。18 日は、３地点で最高気温が 30.1～31.4℃の真夏日となり、日照時間も 13.2～13.3 時間と長く、日最高オキシダント濃度が播磨町で 102ppb となりました。

６月は、低気圧や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。３地点で降水量が平年よりかなり多くなりました。11 日は、３地点で最高気温が 27.1～28.2℃と高めで、日照時間は 8.7～10.4 時間とやや長く、昼頃の平均風速も３m/s 以下であったため、日最高オキシダント濃度が洲本市で 105ppb となりました。その他にも 100ppb 以上となった日が１日ありました。

７月は、上旬は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりましたが、９日の梅雨明け後は高気圧に覆われ晴れた日が多くなりました。４地点で平均気温は平年よりかなり高く、日照時間は平年よりかなり多くなりました。24 日は、３地点で最高気温が 36.0～37.5℃の猛暑日となり、日照時間も 11.8～12.7 時間と長く、太子町で日最高オキシダント濃度が 116ppb となりました。その

他にも 100ppb 以上となった日が４日ありました。

８月は、太平洋高気圧に覆われ晴れた日が多くなりましたが、４地点で平均気温は平年よりかなり高く、日照時間は平年より多くなりました。姫路及び洲本では降水量が平年よりかなり少なくなりました。３日は、３地点で最高気温が 36.4～39.3℃の猛暑日となり、日照時間も 7.9～10.8 時間とやや長く、日最高オキシダント濃度が白川台(神戸市)で 108ppb となりました。その他にも 100ppb 以上となった日が１日ありました。

９月は、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、日最高オキシダント濃度が 100ppb を超えることはありませんでした。４地点で日照時間は平年よりかなり少ないか少なく、降水量は平年より多くなりました。

10 月上旬及び中旬は、高気圧に覆われ晴れた日が多く、４地点で日照時間は平年より多く、降水量は平年より少なくなりました。また、中旬は平均気温が平年よりかなり高くなりました。日最高オキシダント濃度が 100ppb を超えることはありませんでした。

【参考資料】

１　光化学スモッグ広報等の発令状況及び被害届出者数の推移

発令状況及び被害届出者数の推移は、表１及び図１のとおりです。

表１　光化学スモッグ広報等の発令状況及び被害届出者数の推移

区分／年度	予報		注意報		発令日数	被害の届出者数（人）
	日数	延地域数	日数	延地域数		
平成 29 年度	2	4	1	1	2	0
平成 30 年度	0	0	2	3	2	0
令和元年度	4	25	3	15	4	0
令和２年度	1	1	2	3	3	0
令和３年度	0	0	0	0	0	0
令和４年度	0	0	1	4	1	0
令和５年度	0	0	1	4	1	0
令和６年度	0	0	0	0	0	0
令和７年度	0	0	0	0	0	0
令和８年度	0	0	0	0	0	0
過去 10 年の平均	0.7	3.0	1.0	3.0	1.3	―

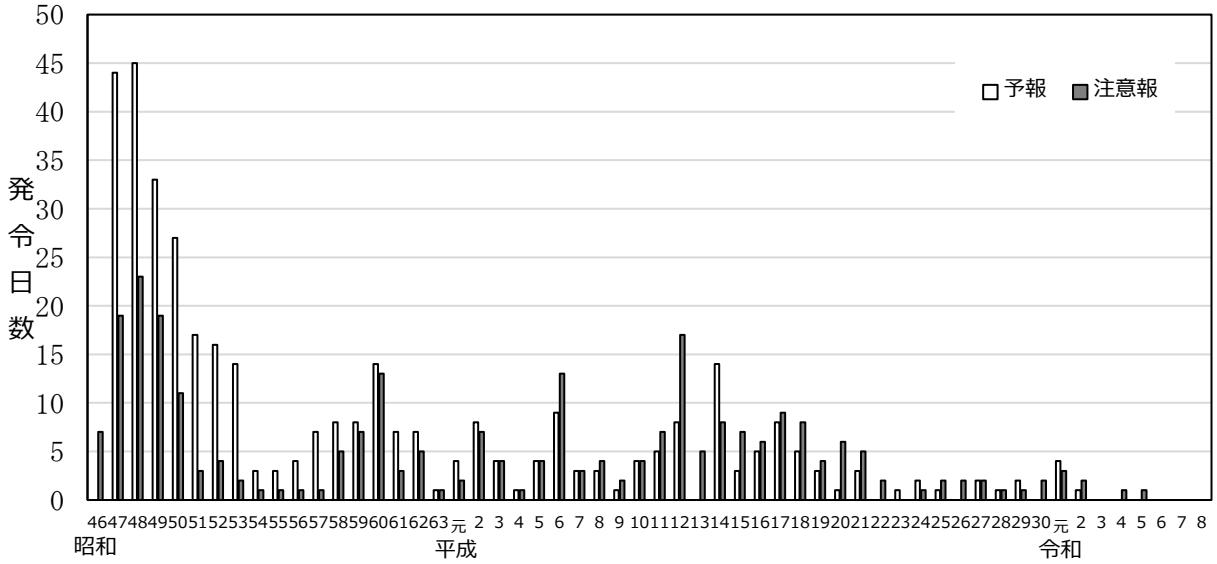


図１　光化学スモッグ広報等の発令日数の推移

２　光化学スモッグ特別監視期間中の気象状況等

（１）梅雨入り及び梅雨明け並びに降水量

今年の梅雨入りは６月２日頃（平年は６月６日頃）、梅雨明けは７月９日頃（平年は７月 19 日頃）で、梅雨入りは平年より４日、梅雨明けは平年より 10 日早くなりました。台風第６号に伴う暖かく湿った空気の影響で梅雨前線が北上して日本の南に停滞し、平年より早い梅雨入りとなりました。また、偏西風の北への蛇行に伴い太平洋高気圧の西日本への張り出しが強まり、梅雨明けがかなり早くなりました。

また、近畿地方における梅雨の時期の降水量の平年比は、平年より多い 116％となりました。

（２）最高気温（神戸）

神戸市の日最高気温の月平均値は、５月：25.3℃（平年比＋1.7℃）、６月：26.4℃

（平年比－0.3℃）、７月：32.5℃（平年比＋2.1℃）、８月：33.8℃（平年比＋1.6℃）、９月：28.7℃（平年比－0.1℃）となりました。

図２の旬別で見ると、５月中旬及び下旬は、高気圧に覆われ晴れる日が多く、平年よりかなり高くなりました。７月中旬から８月上旬、８月下旬及び10月中旬は、暖かく湿った空気の流れ込みのため平年よりかなり高くなりました。

（３）日照時間（神戸）

神戸市の月ごとの日照時間は、５月：259.4 時間（平年比＋56.8 時間）、６月：124.1 時間（平年比－39.9 時間）、７月：267.3 時間（平年比＋77.9 時間）、８月：261.6 時間（平年比＋32.0 時間）、９月：99.9 時間（平年比－64.0 時間）でした。

図２の旬別で見ると、４月下旬は、低気圧や湿った空気の影響で平年よりかなり少なくなりました。

５月中旬は、高気圧に覆われ晴れた日が多く、平年よりかなり多くなりました。

６月上旬及び下旬は、低気圧や前線の影響を受け平年より少なくなりました。

７月中旬から８月上旬及び８月下旬は、高気圧に覆われ晴れる日が多く、平年よりかなり多くなりました。

９月は、前線や湿った空気の影響で平年よりかなり少なくなりました。

10 月上旬及び中旬は、高気圧に覆われ晴れる日が多く、平年よりかなり多くなりました。

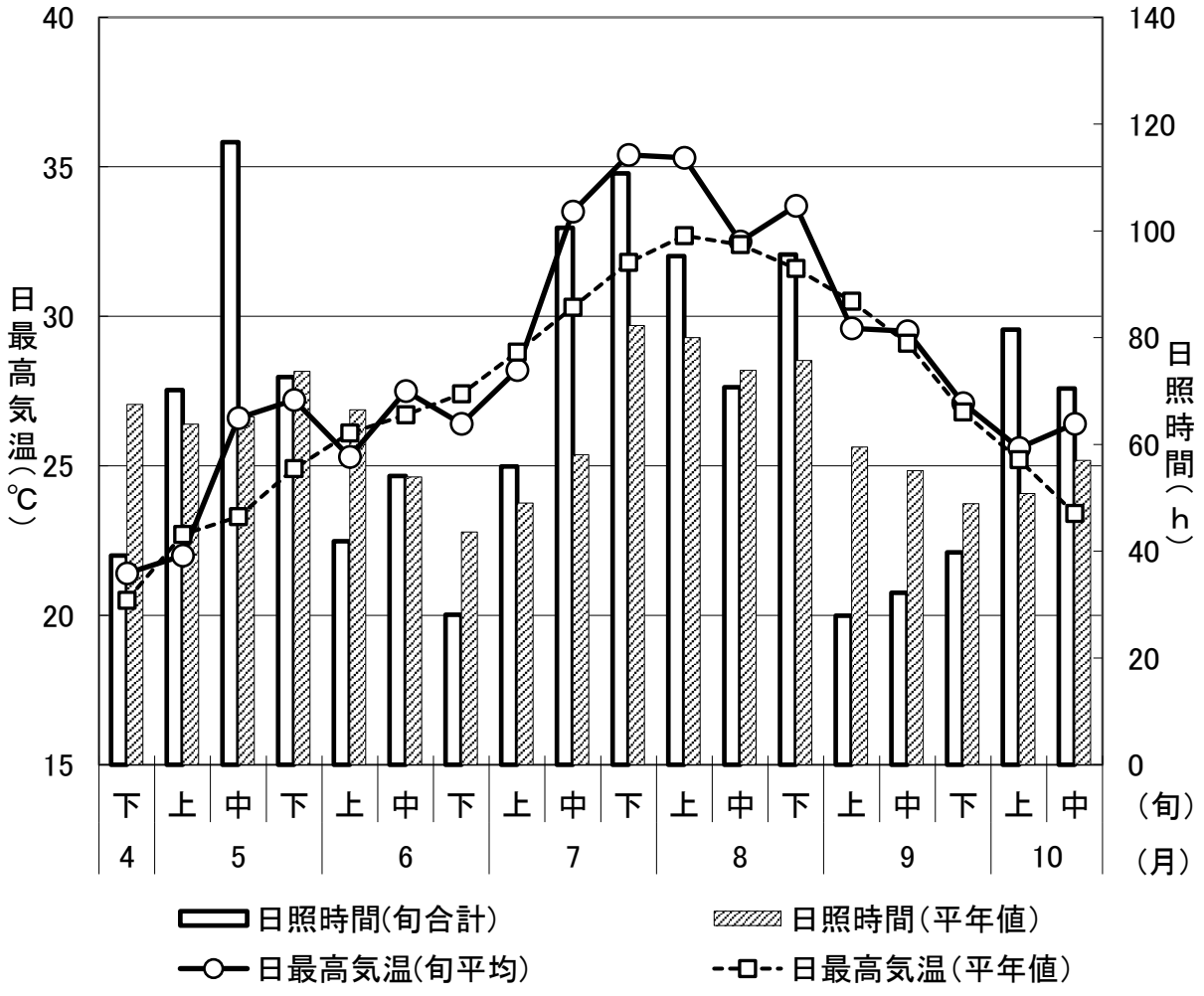


図２ 令和８年度 特別監視期間中の日最高気温(旬平均)と日照時間(旬合計)【神戸】

３　光化学スモッグ広報等の発令基準及び措置の内容について

光化学スモッグ広報等の発令基準及び措置の内容は、「光化学スモッグ緊急時対策実施要領」で定めています（表２）。

表２　光化学スモッグ広報等の発令基準及び措置の内容

区　　分	発　令　基　準	措　置　の　内　容
予　　報	オキシダント濃度が、気象条件等から注意報の発令基準に達するおそれがあると判断したとき	・工場・事業場への窒素酸化物排出量の 20%削減要請 ・有機溶剤等炭化水素の使用抑制の要請 ・不要不急の自動車運転の自粛要請
注 意 報	オキシダント濃度の 1 時間値が 0.12ppm 以上になり、気象条件からみて、その濃度が継続すると認められるとき	上記措置の徹底及び確認
警　　報	オキシダント濃度の 1 時間値が 0.24ppm 以上になり、気象条件からみて、その濃度が継続すると認められるとき	上記措置の徹底及び確認
重大警報	オキシダント濃度の 1 時間値が 0.40ppm 以上になり、気象条件からみて、その濃度が継続すると認められるとき	・工場・事業場への窒素酸化物排出量の 40%削減要請 ・有機溶剤等炭化水素の使用抑制の要請 ・自動車運転者への公安委員会の指示